

【感謝のことば】

本大会で、向こう 1 カ年の活動方針とともに、県連役員についても確認を頂きました。

この場では、本年の役員改選で退任をされました役員の皆様に感謝を申し上げたいと思います。

まず、全日通労働組合神奈川支部副執行委員長を務められた山上執行委員です。

山上さんは、1991 年に入社、川崎支店営業課に配属され、1998 年の川崎分会青年部長を皮切りに、翌 99 年に神奈川支部青年部副部長、2001 年には支部執行委員に選出され、2011 年に支部書記次長、2013 年から県連執行委員に選出され、2015 年には支部副委員長に就任されています。

県連においては、川崎地区連の事務局長、組織拡大委員などを歴任し、組織内、準組織内議員の選挙においても大いにご活躍を頂きました。

とりわけ、平塚の選挙においては、薪割りなど焚き火の管理から個人演説会の設営まで、人が嫌がる仕事も器用にこなすマルチな才能を発揮し、私は随分と助けられました。

今回、ご本人の強い希望で組合活動から少し離れ、会社業務に専念されるとの事ですが、引き続き、組合員として県連運動へのご協力をお願いしたいと思いますし、機会があれば、また共に活動ができたらと願っております。

これまで、県連役員として 8 年間、組合役員として都合 23 年間の長きに亘るご労苦に、心より感謝を申し上げます。

今後、益々のご活躍を心からご祈念申し上げます。

本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

次に、三菱電機ロジスティクス労働組合中央執行委員長を務められた渡邊県連執行委員です。

渡邊さんは、1988 年に入社後、名古屋事業所に配属され、1992 年単組の中央執行委員を皮切りに、2002 年には中央書記長に選出され、翌年、県連執行委員に就任、2007 年には中央執行委員長に選出されました。

渡邊さんと言えば、諸外国文化への造詣が深く自他共に認める海外通であり、県連の隠れ専門部である「海外調査部」の責任者として大いに活躍を頂きました。

実際に某王国への物流事情視察の際、企画・立案・手配まで全てして頂きましたが、数カ国語を自由に操るアテンド能力は本職も舌を巻く実力であったとお聞きし

ています。

また、横浜地区連の幹事、組織拡大対策委員としてもご尽力を頂きましたし、労働政策部では賃金学習会の講師としてもご活躍を頂きました。

この間、三菱電機、三菱電機グループの企業労連との二足の草鞋を履きながら、尚且、事務所も渋谷区笹塚であったことからすれば、県連運動への参画は随分とご負担であったことと、改めて御礼を申し上げます。

退任後は、会社に戻られ更に重責を担われるとお聞きしております。

これまで、県連役員として14年間、単組を含めた組合役員としては都合29年間の長きに亘るご労苦に、心より感謝を申し上げますとともに、今後、益々のご活躍を心からご祈念申し上げます。

本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

次に、丸全昭和運輸労働組合中央執行委員長を務められた萩原県連副執行委員長です。

萩原さんは、2005年に入社後、輸出梱包センターに配属され、2010年の中部支店小牧倉庫営業所職場代表者を皮切りに、2013年に関東支店藤沢営業所職場代表者を経て、翌2014年には中央書記長に就任、同時に県連執行委員にも選出頂きました。

2018年には中央執行委員長に選出され、尾池さんの後継として県連副執行委員長に就任、産業政策部の責任者とともに湘南地区連絡協議会議長や青婦対策部を担当され、地区連なり県連青年婦人部の活性化にご尽力を頂きましたし、連合神奈川では教育・人権平和政策委員会委員、湘南地域連合の幹事と共闘関係においても大いにご活躍を頂きました。

また、単組マターではありますが、中央労働金庫横浜支店の代表推進幹事も務められ労働者福祉活動にも熱心に取り組みをされたとお聞きしております。

更には、ご本人がどう思われているかは別にして、物流業界ではあまり見ないスマートな容姿から「運輸労連にもあんなイケメンがいるのか！」と、県連のイメージアップにも大いに寄与されました。

退任後は、会社に戻られ重責を担われるとお聞きしておりますが、まだ38歳でするので、状況が許せば再度登板もあるのでは？と勝手ながら大いに期待をさせて頂いております。

今日の間ではひとまず、県連役員として7年間、単組を含めた組合役員としては

都合 11 年間に亘るご労苦に、心より感謝を申し上げるとともに、今後、益々のご活躍を心からご祈念申し上げます。

本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

最後に、日新労働組合中央執行委員長を務められた名張県連副執行委員長です。

名張さんは、2004 年に入社の後、千葉支店営業一課に配属され、2006 年の千葉分会長を皮切りに、2009 年中央執行委員、2013 年に中央書記長に就任され、県連執行委員に選出を頂きました。その後、2017 年に中央執行委員長に選出と同時に奥田さんの後継として県連副執行委員長に就任を頂きました。

県連においては、労働政策部の責任者や組織部、また組織拡大対策委員会の委員長代行として、県連登録人員の段階的増員に取り組む等、率先して自ら範を示して頂きました。

また、大所帯である横浜地区連の事務局長としてもご活躍を頂きましたし、連合神奈川においては、雇用・労働政策委員会委員も務めて頂きました。

諸会議においては、真面目で真摯かつ前向きな論議をすると同時に、人生を大いに楽しむ主義なのか、何事にも失敗を恐れず飛び込む勇気にはいつも感服させられておりました。

その事が原因なのか、たまたまなのか分かりませんが、2019 年の年末には大病をされ、私も随分と心配をしましたが、程なく元気に復帰をされ安心したことを今でも昨日のように覚えております。

退任後は、更に重責を担われるとお聞きをしておりますが、持ち前の明るさと人を引き付ける魅力をいかんなく発揮され、今後、益々ご活躍されることを心からご祈念申し上げます。

これまで、県連役員として 8 年間、単組を含めた組合役員としては都合 15 年間に亘るご労苦に、心より感謝を申し上げます。

本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

以上、退任される皆様への感謝の言葉とさせて頂き、具体的な取り扱いにつきましては新執行部にご一任を願います。